

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ウ	多角的な交流の推進	施 策	②沖縄の文化を通じた交流
			施策の小項目名	○沖縄の歴史及び文化への理解を深めるための施策の効果的な推進
主な取組	高校生伝統芸能分野海外就業体験事業		対応する成果指標	県が支援した文化交流イベントの参加者数
施策の方向	・ 県民が沖縄の歴史及び文化への理解を深めるための施策を効果的に推進し、沖縄の文化の継承と発展に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
郷土芸能に取り組んでいる高校生をハワイへ派遣し、伝統芸能を活かした観光産業や歴史的・文化的施設での就業体験をととして職業理解を深める。また、現地高校生との伝統芸能交流や現地県人会との交流を通してネットワークをつくる。	県	郷土芸能に取り組んでいる高校生をハワイへ派遣し、現地高校生との伝統芸能交流や現地県人会との交流を通してネットワークを構築		
		派遣人数(累計)		
		16人	16人(32人)	16人(48人)
担当部課【連絡先】	教育庁文化財課		【 098-866-2731 】	関連URL
				—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)				
予算事業名		高校生伝統芸能分野海外就業体験事業				予算事業名		高校生伝統芸能分野海外就業体験事業	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度				
					主な財源	実施方法		当初予算額	
一括交付金 (ソフト)	委託	18,022	18,136		一括交付金 (ソフト)	委託	16,883		
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画				
16名の高校生をハワイへ派遣し、伝統芸能を活かした観光の在り方を学び、職業理解を深める。また、現地での交流をとおしてネットワークを構築した。					郷土芸能に取り組んでいる高校生をハワイへ2週間派遣し、伝統芸能を活かした観光産業や歴史的・文化的施設での就業体験をとおして職業理解を深める。				

活動指標名	派遣人数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	—	16人	16人	16人（32人）	100.0%	順調	日頃から郷土芸能分野において自己研鑽している16名をハワイへ派遣し、演舞披露をとおして職業理解を深めた。また、現地で伝統芸能の交流を行った。

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
舞踊と地謡を合わせ、43名の応募があり、1次の書類選考で33名に絞った。2次選考は実技や面接等を行い、最終的に16名に決まった。研修終了後の翌年度も高文連主催の郷土芸能に関するコンテスト等へ参加する生徒も多く、郷土芸能の伝承と発展に大きく貢献している。□	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○研修内容や持ち方を検討し、派遣人数を維持したままで目的が達成できるよう工夫する。 ○県高等学校文化連盟、ハワイ県人会および委託事業者と密に連携を図るとともに、派遣国の文化・交流に精通する方々から意見を伺い、より良い本研修、または代替研修につなげる。 ○海外派遣が困難な場合、オンデマンド等の交流や県内での文化研修などの代替研修を行う。	○研修内容や持ち方を検討し、派遣人数を維持したままで目的が達成できるよう工夫した。 ○R5は12泊14日であったが、生徒たちの負担軽減や学習の遅れを減らすために、R6は事業内容の質を落とさず、9泊11日と期間を短縮する。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	観光需要の増加や円安などの為替相場による滞在費や渡航に係る経費増による影響がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	研修内容や持ち方を検討し、派遣人数を維持したままで目的が達成できるよう工夫する。
② 他の実施主体の状況(内部要因)	県高等学校文化連盟、ハワイ県人会及び委託事業者と密に連携を図り、相互理解を深め、情報の共有化と互いの役割分担を明確にする必要がある。	② 連携の強化・改善	県高等学校文化連盟、ハワイ県人会及び委託事業者と密に連携を図るとともに、派遣国の文化・交流に精通する方々から意見を伺い、より良い本研修、または代替研修に繋げる。